



愛の1円玉募金

各店舗の店頭で「愛の募金箱」を設置し、お客様・お取引様・従業員から善意の募金を募っています。集まった募金は、地域の福祉協議会や福祉団体へ寄贈しています。

関東地区	2,213,865円
静岡地区	692,326円
中京地区	6,161,018円
北陸地区	658,813円
合計	9,726,022円

AJU 車椅子センター

1982年より旧ユースアの各店舗では「車椅子の無料貸し出し」を行うために、従業員による募金活動によって寄付を続けてきました。今年度からはユニーが引き続き募金活動を実施していきます。介護保険がスタートし福祉機器視貸与事業が始まったことで、車椅子の貸し出しも福祉制度の狭間にいる人々が対象になってきました。これからも地域の車椅子を必要としている人々を支援していきます。



地域活動への参加

名古屋市「エコ事業所優秀賞」アピタ千代田橋店

名古屋市が認定しているエコ事業所のうち、特に優秀な事業所として、昨年のアピタ新守山店に次ぎアピタ千代田橋店が表彰されました。



サービス介助士資格の取得

サービス介助士資格とは「比較的元気な高齢の方や障害をもつ方をお客様としてお迎えするときの介助技術」を日本ケアフィットサービス協会が認定した資格です。店舗の店長や副店長および本部管理職を対象に取得をすすめており、既取得者は約1,000人になるようとしています。



EXPOエコマネーへの協力

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）で誕生した環境通貨「EXPOエコマネー」は、レジ袋を断ったり公共交通機関を使って移動したりエコ活動をする事でポイントを貯めることができ、エコ商品との交換や植樹活動への寄付に使えます。



このエコマネーのポイント入力ができる「EXPOエコマネーサテライト」をアピタ千代田橋店・アピタ鳴海店に開設し、前年に開設したアピタ長久手店に加え3店舗になりました。エコ活動でポイントをもらえ、さらにCO₂削減に繋がるといこの環境通貨には36万人が参加し、低炭素社会を構築するためのライフスタイルを広める役割を果たしています。

使用済み廃油の店頭回収

名古屋市千種区のアピタ千代田橋店では、名古屋市に協力して地域のお客様から集めた食用廃油をバイオディーゼル油に再生利用しています。この活動は、地域循環を進めることが目的で、廃油を捨てることなくエネルギーに変え、廃油をお持ちいただいたお客様にはEXPOエコマネーのポイントを差し上げています。



環境デーなごや2008でアピタ港店が表彰

環境デーなごやにおいて、アピタ港店が名古屋市より環境への取り組み優良店として表彰されました。牛乳パックやトレイなどの店頭回収リサイクルへの取り組みや、レジ袋使用削減などが評価されたものです。この表彰は消費者団体から選出されるもので、お客様と一緒に進める環境活動が認められたものです。



各地の環境展に出展

ユニーの環境活動の紹介や情報開示、また毎日の生活のなかで進める「環境にいいこと」をたくさんの人々に知っていただくために、自治体環境展への出展や自店での環境展を開催しています。名古屋市の環境学習センターでは子供達向けの環境展を6月の環境月間に開催しました。また、2009年環境省3R推進全国大会にも出展しました。

